

令和3年度 第5回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時：令和3年9月29日（水） 13：00～13：25
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
-

◆審議事項

- ・令和4年度予算編成方針について・・・・・・・・・・・・・・・・・・財政課⇒承認
-

◆審議概要

『令和4年度予算編成方針について』

〈説明者〉寺本財務部長、新内財政課長、浅野参事、三宅担当長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件一部修正のうえ承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書等に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

- ① メリハリのついた計数整理を行うこと。
- ② 庁内への説明の際には、国・府・市の役割分担や既存事業の見直し、第3期戦略計画で掲げる「重点目指す成果」の達成及び国の「経済財政運営と改革の基本方針2021」における4つの原動力への対応についての認識を持ったうえで予算要求を行うよう周知すること。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉予算編成方針は極めて重要であるため、各部局には、財政部局から趣旨等をしっかりと口頭で説明し、それに基づいて具体的な事業の査定につなげていくという形にしていくように。また、人材確保と職員の能力開発・育成について重要になっているので配慮するように。いまだコロナ禍が続いているので国からの補正が出てくるが、無駄なく使えるよう、企画課とともに的確なアドバイスをして、良い方向で事業化できるよう努めてもらいたい。

〈戎井副市長〉市の予算のうち、臨時的経費はどの程度あるか。

〈財政課長〉臨時的経費は毎年決算の中で分析していく状況であり、国の政策に則って行っていくものも含まれる。国の財源等を除いた一般財源では、令和2年度においては約50億円が一般財源として使われている。ただし、国の方向性に沿って行うものもあるため、その年によって変わってくるというのが現状である。

〈戎井副市長〉今回の方針に沿って見直す事業の目安はどの程度か。

〈財政課長〉歳入の総額を見込めていない状況なので、現在具体的な数字は持っていない。行財政再建プランで挙げられている項目は、基本的にスクラップアンドビルドの考え方に基づいた政策になってくるので、一定時間を要するものもあるが、一歩ずつ着実に進め

ていく。

〈戎井副市長〉新規事業を進めていくことが重要。他方で、財源の確保・他の事業の支出見直しも含めて新たな負担がないようにという記載もあるため、匙加減をうまく行い効率的に行ってもらいたい。

〈市長〉一律の割合を決めて削減することは、過去に行ったことがあるか。

〈財政課長〉以前はある。

〈市長〉実際に行うとなると、課題の方が多くなるのか。

〈財政課長〉20年程度続けてきた行財政改革の中で、はじめには、補助金も含め5%削減という取扱いを行ったこともある。その中で限界が来ているのも事実。新規事業について、見直すべきところは見直しを行ったうえで実施することを積み重ねてきたところであるが、その中にも既に時代に合っていない事業も出てきている。適宜、社会情勢を含め、現状に応じたものであるかどうか、各課へヒアリングをしていく中で事業ごとに判断していくこととしている。

〈堤副市長〉大阪府においても、以前一律の削減を行っていたこともあったが、部局によって、全く削れないところがあり、単なるシーリングは財政課の計数整理権の放棄になる。

〈市長〉いざとなればそういった手法の検討も必要では。

〈財務部長〉平成13年から平成17年の5か年のアクションプランの中で大きく着手した。その際に、前年度10%カットが続いた。そのころに比べると経常的経費は半分程度になっている。シーリングという方法も一つの手段としてあり得るが、現状では、内容による精査にシフトしていくべきという考えの下、現在の行財政再建プランがある。まだ削減できる部分は、財政課の計数整理の中で確認していく。

〈市長〉一律削減より、内容を見極めて行っていくことは重要なので、引き続き行ってもらいたい。ただし、シーリング方式ではない分、議会などから見ると、総点検していることが見えにくい。ひとつひとつ精査していることを示していく必要がある。また、それぞれの職員が1%の削減をしていけるような改革マインドを持ち、常に無駄をチェックするような意識付けが重要である。

〈教育長〉市民サービスの低下には繋がらないよう。また、人件費を削ることは、職員のモラルの低下、人材の不足につながる。行財政改革の必要性を念頭に置きながら、日ごろの努力を重ねるとともに、必要なものについてはしっかり要求していくことが重要である。

〈財政課長〉10月1日、課長向けに予算説明会を実施し、予算編成方針、財政計画及び予算要求基準等について説明する。その際に、今回いただいた意見も合わせて伝える。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和3年9月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 財務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和4年度予算編成方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和4年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
説明者	新内財政課長 浅野参事 三宅予算担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和3年度 第5回会議
付議事項	令和4年度予算編成方針について

★取組の目的

対象	職員
どのような状態を目指す	令和4年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

★総合計画上の位置付け

202020201	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②計画的に財政運営が行われている
	行政の役割	ア 中長期の視野に立ち、効果的・効率的な財源配分を行う

★現状と課題

令和4年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	目標値				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。